

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.111 (2025.6.27)

令和7年度スローガン
新たなるステージへの挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

“善とは何か・・・後味(あとあじ)の良いことだ。悪とは何か・・・後味の悪いことだ。”

アメリカ生まれのアーネスト・ミラー・ヘミングウェイ (Ernest Miller Hemingway、1899年-1961年) が残した名言です。落ちていたごみを拾う、人に親切をする、優しい言葉を掛ける、明るく元気に挨拶をする、少し遠回りをして横断歩道を歩く等々、良い事をした後味は確かに良いものです。反対にごみを見て見ぬふりをする、人に意地悪をする、口汚くののしる、暗い態度で挨拶もしない、危険な道路横断をするなどなど、悪いことをしたと自覚した時は後味が悪いと思います。とてもシンプルな表現で、皆が後味の良い行いを日々心掛ければ良い世の中になるような気がします。

しかしながら善悪の自覚について考えてみると、「善悪の区別がつかない年齢」という表現がされるように、社会性が未熟な段階では悪い事をして後味が悪くなることは無いでしょう。また「反社会性パーソナリティ症」の人は、自分の利益や快樂のために法を犯したり詐欺を働いたり、無謀な行動をとっても良心の呵責は感じないと言われています。さらに現在地球上で起きている紛争・戦争は当事者それぞれが正しいと認識しており、特に宗教間の争いは信じている宗教こそが善であると考えてるので善悪の判断は第三者には理解しがたいものとなるのではないのでしょうか。

6月1日ポーランドのアウシュビッツ強制収容所を訪問しました。事前に知識は得ていたつもりでしたが現実に施設を目の前にすると、胸が苦しくなるのを覚え、人間は何と愚かなんだろうと思いました。5年間でユダヤ人約100万人、7万人以上のポーランド人、2万人以上のジプシー、1万5千人のソ連軍捕虜が殺害された施設です。ナチスがユダヤ人絶滅を図った理由は不確かなままですが、人種差別と偏見であったと言われています。善と悪、後味が良かったはずは無いと信じているものです。



英語 → 日本語

列車を降りるとすぐに、ユダヤ人たちは二列に並ばされた。女性と子供は一方に、男性はもう一方に並ばされた。その後、プラットフォームでSSの医師たちが選別を行い、強健な者と老人、病人、そして子供を分けた。

労働に適していると判断された者は収容所に受け入れられ、残りの人々はガス室で死ぬために送られた。



今回は少し哲学的な話題になりました。「シンドラーのリスト」「杉原千畝」皆さんも調べてみてください。

雄勝建設業協会総会

5/22 一般社団法人雄勝建設業協会令和7年度定時総会が湯沢グランドホテルで開催され、当社鉄道工事事務部長が永年勤続表彰を授与されました。平成9年に当時の横手工業高校土木科を卒業、国土交通省等の工事に携わった後、鉄道工事事務で活躍して頂いております。おめでとうございます。入社以来28年、今後とも活躍を期待します。



秋田県建設業協会総会

5/28 秋田キャッスルホテルにて秋田県建設業協会の総会が開催され、当社執行役員佐藤弘樹総務安全推進部長が表彰されました。これは「表彰規定第5条会員企業の従業員に対する表彰は、信義を重んじ業務に誠実で、下の各号1に該当するものに対しこれを行う。(1) 勤労精神を発揮し、担任業務に精励し成績特に優良な者」おめでとうございます。



参議院選

7月3日公示、20日投票が見込まれる参議院選挙比例区に、元国土交通省近畿地方整備局長の「見坂茂範」氏の立候補が予定されております。先日秋田を訪問いただき、全国の建設業で働く人たちの代表として強い志を持って政治家を目指すとの決意を聞くことができました。社員の皆さんには一人でも多くの方にお声を頂きますようお願い致します。

